



確かな学力の向上をめざして【5月】

■中部の子どもたちに力をつけるために「何ができるか」

「中部版スクラム教育（第4期）」事業（2年目）がスタートしました！

この事業は、中部地区の5つの市町教育委員会、校長会、高等学校課、中部教育局がスクラムを組み、中部地区における「子どもたちの確かな学力の向上」と「不登校及び問題行動」等の教育課題の解決を目指すことをねらいとしています。課題を解決するためには、子どもに係わる全ての組織がスクラムを組んで取り組むことが必要です。

1 中部地区の課題

- 学級経営の困難さ
- 長期欠席・不登校の出現率の高さ
- 授業改善への取組
- 若手教員の育成

4月22日に行われた、中部版スクラム教育連絡協議会において、次のことが確認されましたので、お知らせします。



2 課題解決に向けた4つの柱と取組

- (1) 学級集団づくり
- (2) 研究推進の活性化
- (3) 教員の指導力向上
- (4) 外国語教育の充実

- ①**講師研修会（年2回）** 第1回 6月18日（火）15時～、第2回 9月～11月
○児童生徒を理解する力、学級を運営する力、わかる授業をつくる力等、今後の学校教育を担う若手教員の指導力向上を目指して研修を行います。
- ②**研究主任等研修会（年2回）**（済）第1回 4月11日（木）15時～、第2回 12月3日（火）午後
○研究主任を中心に、全員が参画できる校内研究、若手からベテランまで全員の指導力を高めるための校内研究の充実に向けて研修を行います。
- ③**外国語担当者研修会（年2回）** 第1回 7月1日（月）14時～、第2回 10月～12月
○小学校外国語・外国語活動、中学校英語の地域課題について、小中連携を図り、よりよい授業づくりを目指して研修を行います。
- ④**生徒指導担当者研修会（年1回）**（済）4月12日（金）15時～
○いじめ、不登校は未然に防止することが最も大切な事です。しかし、起きてしまった時は、適切な対応が必要です。いじめの認知と対応について研修を行います。
- ⑤**中部地区指導主事等連絡協議会（年3回）**
○各学校の状況についての情報を共有し、各学校の教育活動の充実に向けた支援策、具体的な取組について協議を行います。

本年度から、「研究主任等研修会」「生徒指導担当者研修会」は、4月初旬開催となりました。研究主任等研修会は、各校での研究の充実に向けて、スタート前に確認すべき事をお伝えするために、生徒指導担当者研修会は、いじめの認知について、早い時期に全ての教職員に正しく理解してもらう必要があるために行いました。

受講された先生方が、学んだことを校内で発信され、全職員で共有することが大切です。

これらの研修会は、「子どもたちに力をつけるため」、「子どもたちが充実した学校生活を送るため」に行います。まずは校内の先生で、そして近隣の学校でスクラムを組み、子どもたちのために「何ができるか」を考え、学校全体の教育力向上につなげていきましょう。

